

宮内踊りの保存継承活動による地域の活性化

宮内踊り保存会

活動の目的

宮内踊りは、江戸時代後期の宝暦年間（1750年代）吉備津神社の門前町、宮内に芝居興行に訪れた、花形歌舞伎役者「三柳大五郎」が振り付けて、この地の芸者衆に踊らせたのがはじまりと言われている。踊りの特徴は、歌舞伎の“六法”をくずして構成されたものと言われ、単純な動作をゆるやかな速度で踊る点にある。明治時代から踊られていたが、庶民には難しい踊りで、1935年頃、子供対象の「吉備津音頭」が作られ、宮内踊りを盛んにするため、「宮内踊り保存会」ができた。その後戦中戦後は一時衰退したが、復活しなければならないという気運から、活動が活発になっている。踊りは1959年に岡山県指定重要無形民族文化財に指定された、歴史ある踊りである。

宮内踊りは、太鼓と唄に合わせて踊る踊りである。歴史のある太鼓と太鼓台は老朽化しており、太鼓の張替及び胴の塗装修理と太鼓台の新調を行った。この太鼓は、宮内踊りの保存継承活動に無くてはならないもので、修理後、以前にも増して宮内踊りの保存継承活動を活発に行うことを通じて、市民、地域住民とコミュニケーションを図り、地域の活性化に貢献することを目的とした。

活動の内容及び経過

4月末に太鼓台を新調、太鼓は6月中旬に修理が完成した、宮内踊り保存継承活動は、下記とおり実施した。

- 例月の定期練習により、会員の踊りの技術の向上を図った。
- 吉備津神社夏祭りの奉納踊り（例年7月31日）に向けての各町内の練習に保存会の指導員が出向き、7月24日より7月30日まで、鯉山学区の町内を3カ所に分けて延べ8日間、延べ約180人の子供を含む地域住民に踊りの練習指導を行った。7月28日に吉備津大橋地区稲荷夏祭りに踊りを奉納した。
- その後、7月31日に吉備津神社夏祭りにおいて地域住民と共に踊りを奉納した。
- 9月16日、鯉山学区の敬老会に参加し、宮内踊り、栄西踊りを披露し、飛び入り参加もあり、高齢者とのコミュニケーションを図った。
- 9月22日、鯉山小学校運動会で宮内踊りを、児童及び父兄全員で踊り、保存会指導員が踊りを指導し継承、普及活動を行った。
- 10月28日、高松城址公園において開催の「備中高松まほろば祭り」に出演し、宮内踊り、栄西踊りを披露した。
- 11月3日、鯉山学区コミュニティ祭りに出演、宮内踊り、栄西踊りを披露し地域住民も踊りに参加してもらい、コミュニケーションを図った。



○吉備津地内に茶祖「栄西禅師」の生誕地があり、その縁で7月5日に「栄西禅師」が開山した建仁寺（京都）で栄西踊り、宮内踊りの奉納を行った。

○栄西禅師の生誕地で行われる8月7日「七夕茶会」10月21日「名月茶会」に、宮内踊り保存会が招かれ、栄西踊り、宮内踊りを奉納した。茶会に訪れた地域住民にも踊りに参加してもらい、コミュニケーションを図った。

活動の成果・効果

宮内踊りの保存継承、後継者育成を目的とし、吉備津神社の夏祭り奉納踊り大会を通じ、大会まで各町内で練習会を開催し、踊りを体で直接体験してもらい、関心をもってもらう保存継承活動を行った。

また、「敬老会」「備中高松まほろば祭り」「鯉山学区コミュニティ祭り」などで踊りを披露し地域住民、高齢者等に飛び入り参加してもらうなど、コミュニケーションを図った。

さらに、小学校の運動会（学区の体育大会は台風のため中止）でプログラムの種目に「宮内踊り」を設けてもらい、全員（小学生、父兄）で踊り、興味、関心をもってもらうよう保存継承、普及活動を行った。

宮内踊り保存会のこれらの活動を通じ、地域住民とコミュニケーションを図り、踊りの保存継承と同時に地域の活性化に貢献の一助になったと考えられる。

今後の課題と問題点

宮内踊りは、1959年に岡山県指定重要無形民族文化財に指定された歴史ある踊りであるが、会員の高齢化など後継者育成が保存会の今後の大きな課題である。


- 代表者：山田一男 ●所在地：岡山市北区吉備津
- TEL：086-287-3087
- 設立年：1935年頃 ●メンバー数：36名

●宮内踊り保存会の年間の活動（コロナ禍以前）

平成30年度宮内踊り保存会事業

時 期	事 業 名	場 所
4月15日 18:30～20:30	稽 古	鯉山小学校体育館
4月21日 13:30～	宋西踊り、宮内踊り	宋西禪師生誕地
4月22日 18:00～20:00	総 会	大橋公会堂
5月20日 18:30～20:30	稽 古	鯉山小学校体育館
6月17日 18:30～20:30	稽 古	鯉山小学校体育館
7月 5日	宋西踊り、宮内踊り	京都建仁寺
7月15日 18:30～20:30	稽 古	鯉山小学校体育館
7月24日 19:00～21:00	稽 古	鯉山学区コミュニティハウス
7月26日 19:00～21:00	稽 古	鯉山学区コミュニティハウス
7月27日 19:00～21:00	稽 古	鯉山学区コミュニティハウス
7月24日 19:30～21:00	稽 古	大橋公会堂遊園地
7月25日 18:00～19:00	稽 古	大橋公会堂遊園地
7月28日 18:00～19:00	稽 古	鯉山幼稚園
7月28日 19:30～21:00	大橋稲荷奉納踊り	大橋町内会広場
7月29日 18:00～19:00	稽 古	鯉山幼稚園園庭
7月30日 18:00～19:00	稽 古	鯉山幼稚園園庭
7月31日 19:00～21:00	吉備津神社夏祭り踊り奉納踊り	吉備津神社駐車場
8月 7日 19:00～21:00	七夕祭り(宮内踊り、宋西踊り)	宋西禪師生誕地
8月20日 10:00～11:00	役員会	大橋公会堂
8月25日 19:00～20:00	臨時総会	大橋公会堂
9月16日	敬老会	鯉山小学校体育館
9月22日	鯉山小学校運動会に宮内踊りの指導	鯉山小学校グラウンド
10月21日 19:00～	名月茶会(宮内踊り、宋西踊り)	宋西禪師生誕地
10月28日 13:00～	まほろば祭り参加	高松城址公園
11月 3日	鯉山学区コミュニティ祭り参加	鯉山学区コミュニティハウス
11月18日 18:30～20:30	稽 古	鯉山小学校体育館
12月16日 18:30～20:30	稽 古	鯉山小学校体育館
3月10日 18:30～20:30	稽 古	鯉山小学校体育館
3月26日 10:00～12:00	役員会	大橋公会堂

●寄稿文（2006年7月28日付「ちまたJ」）



優雅な宮内踊りの継承を

毎年七月三十一日の夕方から吉備津神社の駐車場で「奉納踊り大会」が行われます。「カチ、カチ、カチ、カチ、カチ、カチ、カチ、カチ、カチ」との拍子の太鼓の音と「ころは昔の大むかし、百済の国より渡り来し」との男性の五調の唄が流れます。吉備津神社の祭礼の踊りの光景です。

ここで踊られる宮内踊りは歌舞伎の「六法」を崩して構成したと言われ、単純な動作を緩やかな速さで踊る点に特色があります。優雅な格調の高い踊りです。七月から各町内会では鯉山小学校体育館、コミュニティハウス、公会堂で老若男女が熱心に踊りの練習をしています。

昭和三十四年に県重要無形民俗文化財に指定され、地元では「宮内踊り保存会」を結成し、正当な伝承と普及に取り組んでいます。昨今、会員の高齢化のため後継者の育成や普及など、再考せねばならない点も多いため、私も保存会の役員として頑張っています。地元の小・中学生を対象に継承普及を図っています。

また、広く一般の人々にも宮内踊りに対する理解と認識を深めていただき、今後の存続、発展のために会員一同努力してまいりたいと思っ

ています。

2006年7月28日付「ちまたJ」